



# 10×2.5、10×2.75 チューブレスホイールセット 取扱説明書

商品番号	: 06 09 0212 (10×2.5)
	: 06 09 0213 (10×2.75)
適応車種	: モンキー・ゴリラ
フレーム番号	: Z50J-1300017~
	: AB27-1000001~
適応条件	: 当社製フロントフォーク、 12cm又は16cmロングスイングアーム ディスクブレーキハブ又はノーマルハブ取り付け車

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
  - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ～ 特 徴 ～

リム部に折り返し加工を施し、リム部剛性をUPさせ、タイヤ組み付けの際にリムを曲げる心配がありません。同時に悪路走行の際にリムを变形によるエア漏れを軽減しています。

○ディッシュ面は9穴を採用し飽きの来ないデザインに仕上げています。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。上記車種であっても、ノーマルスイングアーム、ノーマルフォークには使用出来ませんので、ご注意ください。必ずタイヤビード部に植物性石鹸水又は、タイヤビード専用ワックスを塗布し、組み付けて下さい。ビード部には、グリースや潤滑剤は一切使用しないで下さい。適応タイヤサイズは、フロント使用時：90/90 10、リア使用時：110/80-10までです。推奨以上のサイズを使用されますとフォーク、チェーンに干渉する恐れがありますので使用出来ません。ドラムブレーキ用リアフローティングキット(06-08-02)と110/80-10のタイヤを同時に使用されるとリアフローティングキットのロッドとタイヤが干渉しますので使用出来ません。ご注意ください。組み付け作業や走行時のアクシデント等により変形したホイールは、事故の原因になるので、必ず交換して下さい。指定空気圧は、MAX 1.75 kgf/cm<sup>2</sup> (175 kpa) です。



### 注意

この内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・取り付け作業は、平坦な場所でメンテナンススタンド等を使用し車両を安定させて確実に行って下さい。
- ・空気圧は必要以上に高めないで下さい。
- ・フロントに使用の際、当社にて取り付け確認が取れているキャリパーは当社品番：06 08 115です。当社製旧タイプキャリパーやホンダ純正キャリパーはホイールリムに干渉する恐れがある為使用出来ませんのでご注意ください。
- ・当社製エアバルブは、キャリパー等の他部品との干渉を回避する様に、全長が短くなっております。その為、一部使用出来ないエアポンプがあります。ご注意ください。



### 警告

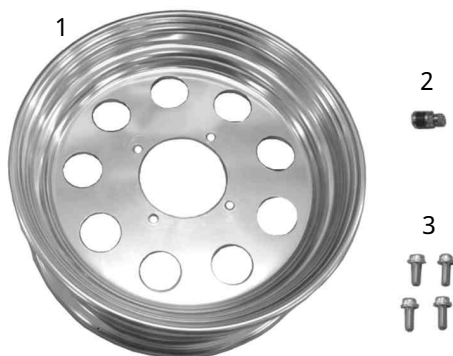
この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、安全に十分注意し、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・変形したホイールは、絶対に使用しないで下さい。重大な事故の原因となります。
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態や、空気圧を点検して下さい。又、走行中異常が発生したと思われる場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行ってください。
- ・タイヤの表示サイズが同一であっても、メーカーやタイヤ銘柄により、実サイズに公差及び個体差があります。タイヤと車体の干渉等がないか十分に確認した上で、ご使用下さい。(干渉によりタイヤのバースト等の恐れがあり、不慮の事故の原因となります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

## ～商品内容～



番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	チューブレスホイール	1		
2	エアバルブ	1	42700-000-T00	1
3	フランジソケットキャップスクリュー 8×18	4	00 00 0163	2

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ  
お願い致します。

## ～取り付け要領～

作業の際は、水平で安全な場所で、必ずメンテナンススタンド等を用いて車両を水平に安定させてから、作業を行って下さい。

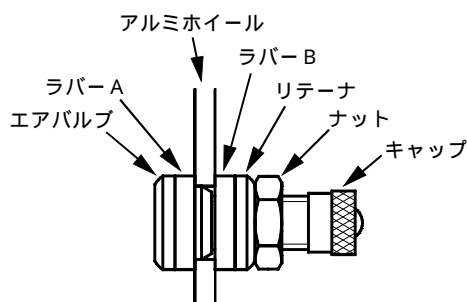


### 警告

チューブレスホイールセットの取り付けは基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

### ホイールの組立て

#### エアバルブの取り付け



#### チューブレスタイヤの組み込み

ご使用のハブ等によりエアバルブの向きとタイヤの回転方向が異なります。タイヤの組み込みの前にご確認下さい。  
(次項「ホイールの取り付け」参照)

1. ホイールにエアバルブを取り付け、エアバルブからバルブコアを取り外します。取り付けるタイヤを点検し、ビード部にビードワックス又は植物性石鹼水を塗布します。サイドウォールに軽点マーク(ペイントマーク)がある場合、エアバルブ位置に合わせます。  
タイヤ回転方向マーク( )がある場合、ホイールの回転方向に向きを合わせて下さい。
2. タイヤを立てて支えエアバルブと反対側より、片側だけを手作業で組めるところまでリムにタイヤを組み込みます。
3. ホイールを横にして、リムプロテクタをリムに取り付け、2本のタイヤレバーで残りの部分を少しずつ組み込みます。最後の部分は、タイヤレバーを2本同時に起こして、組み込みます。  
ビードが完全にリムセンターに落ちている事を確認して下さい。
4. ホイールを反転させ、ビードを膝で抑えながら1/2程度組み付けたら、2本のタイヤレバーを30～40mmの間隔で順番に差し込んで起こす作業を繰り返します。  
起こしたタイヤレバーを引き抜くときには、次のレバーが起きている事を確認して下さい。

5. 3/4程度入った所でビードがリムセンターに落ちているかを確認します。  
ビードがリムセンターに落ちていないと最後のビード組み込みが困難になり、リムやビードを損傷させる場合がありますので注意して下さい。  
残り部分が50～60mmになったら2本のタイヤレバーを同時に起こして完全にビードを組み込みます。バルブコアを取り付けます。
6. 再度、ビードワックス又は植物性石鹼水をビード部全周に塗布し、ラバーハンマーでトレッド面を叩いてタイヤとリムをなじませます。  
タイヤセンターとホイールセンターが一致している事を確認して下さい。
7. 指定空気圧の1.5倍の空気を入れます。  
空気を入れてもリムとビードの間から漏れる場合は、ホイールを立てて、バルブを下側にし、タイヤを押しえ付けながら空気を入れて下さい。
8. ホイールリムとタイヤのリムラインが同心円状になっているかを確認します。空気を指定空気圧に調整します。  
エアバルブ、リム部からの空気漏れを点検して下さい。

## ホイールの取り付け（フロント）

### ・フロントドラムハブ（ノーマルハブ）に取り付ける場合

1. ホイールハブスペーサー6mm（当社品番：06 09 1302）が別途必要になります。
2. ノーマルハブより、スタッドボルト4本を抜き取ります。スタッドボルトはWナット等で取り外して下さい。ネジ部分にカエリ等がある場合は、ヤスリ等で修正して下さい。
3. ハブにスペーサー、ホイールの順で取り付けます。このとき、エアバルブが車両の進行方向右側（ブレーキ側）に向くように取り付けて下さい。
4. スペーサーに付属している、フランジソケットキャップスクリュー8×2.5を使用し、対角線上に締め付けます。  
締め付けトルク：26.5N・m（2.7kgf・m）

### ・当社製 旧タイプホイールハブ（当社品番：06 08 113 / 142）に取り付ける場合

1. ホイールハブスペーサー6mm（当社品番：06 09 1302）が別途必要になります。
2. ハブにスペーサー、ホイールの順で取り付けます。このとき、エアバルブが車両の進行方向右側（ブレーキ側）に向くように取り付けて下さい。
3. スペーサーに付属してくる、フランジソケットキャップスクリュー8×2.5を使用し、対角線上に締め付けます。  
締め付けトルク：26.5N・m（2.7kgf・m）

### ・当社製ダイカストハブ（当社品番：06 08 1421）に取り付ける場合

1. ハブにホイールを取り付けます。このとき、エアバルブが車両の進行方向左側（メーターギア側）に向くように取り付けて下さい。
2. 付属のフランジソケットキャップスクリュー8×1.8を使用し、対角線上に締め付けます。  
締め付けトルク：26.5N・m（2.7kgf・m）

## ホイールの取り付け（リア）

### ・リアドラムハブ（ノーマルハブ）に取り付ける場合 （車体番号 Z50J-1300017～1999999の場合）

1. ハブにホイールを取り付けます。このとき、エアバルブが車両の進行方向右側（リアブレーキ側）に向くように取り付けて下さい。
2. 付属のフランジソケットキャップスクリュー8×1.8を使用し、対角線上に締め付けます。  
締め付けトルク：26.5N・m（2.7kgf・m）

### （車体番号 Z50J-2000001～ / AB27-1000001～ の場合）

1. ノーマルハブより、スタッドボルト4本を抜き取ります。スタッドボルトは、Wナット等で取り外して下さい。ネジ部分にカエリ等がある場合は、ヤスリ等で修正して下さい。
2. ハブにホイールを取り付けます。このとき、エアバルブが車両の進行方向右側（リアブレーキ側）に向くように取り付けて下さい。
3. 付属のフランジソケットキャップスクリュー8×1.8を使用し、対角線上に締め付けます。  
締め付けトルク：26.5N・m（2.7kgf・m）

### ・当社製 リアディスクハブに取り付ける場合

#### スタンダードハブ（当社品番：06 08 164）の場合

1. ホイールスペーサー6mm（当社品番：06 09 1302）が別途必要となります。
2. ハブにスペーサーを入れ、ホイールを取り付けます。このとき、エアバルブが車両の進行方向右側（リアブレーキ側）に向くように取り付けて下さい。
3. スペーサーに付属してくる、フランジソケットキャップスクリュー8×2.5を使用し、対角線上に締め付けます。  
締め付けトルク：26.5N・m（2.7kgf・m）

#### ダンパーハブ（当社品番：00 06 0003）の場合

1. ハブにホイール、スペーサー（ハブKIT付属品）の順で取り付けます。このとき、エアバルブが車両の進行方向左側（スプロケット側）に向くように取り付けて下さい。
2. ダンパーハブを取り付け、ロックナットを対角線上に締め付けます。  
締め付けトルク：26.5N・m（2.7kgf・m）

## 最終確認

1. タイヤを手で回転させて、タイヤと車体および、エアバルブとブレーキパーツとの干渉等の不具合が無いが、十分に確認してから走行するようにして下さい。
2. 取り付けスクリューに緩みがないが、またタイヤの空気圧が適正が確認します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>